

男女がよきパートナーとして共に生きるために

男性も女性も、ワーク・ライフ・バランス

私生活と仕事がうまく調和するように改善することを、ワーク・ライフ・バランスを進めると言います。育児制度の整備や残業の減少など、男女の働き方を見直し、仕事と家庭生活等の両立ができるようにしていこうというものです。

少し前までは、「仕事人間」、「企業戦士」として会社のために活躍することが期待され、その一方で家庭や私生活は犠牲になっていました。人によっては、健康や精神までもむしばまれることがありました。毎年3万人を超える自殺者が報告されますが、その7割強は、働き盛りの男性です。

この頃多くなった「共稼ぎ」スタイルは、経済的な事情による場合もありますが、男女共にそれぞれの夢、希望の

実現に向けて、お互いに支えあいながら家庭を運営していくパターンともいえます。

しかしながら現実には、出産、育児となると、仕事と家庭の両立支援が十分でないことから、夫婦ともに苦勞することが多く、それが少子化の原因にもなっているものと思います。

下のグラフは、平成13年度社会生活基本調査による佐賀県民(35歳～44歳)の一日の過ごし方です。家事・育児や介護・看護に使う時間は、男性の28分に対し、女性は5時間04分と大変大きな違いがみられます。

生まれつきの性にこだわらない、個性と能力を充分発揮できる生活を実現するために、あなたにできることから始めましょう。



担当 綿島



「わたしの思う男女共同参画」

シリーズ
5

～市内のあちこちで、男女共同参画へのご意見を伺いました～
★質問：武雄市では、男女共同参画社会づくりは進んでいると思いますか？

おでかけください

男女共同参画講演会・討論会

～平成18年度武雄市男女共同参画啓発イベント～

日時：平成19年2月10日(土) 13時15分～
場所：武雄市文化会館 小ホール

〔基調講演〕

演題：地域づくりと男女共同参画

講師：たもつゆかりさん

(オフィスビュア代表・地域づくりアドバイザー)



〔討論会〕

テーマ “いろいろな人がくらしやすいまちづくり”

参加者 市内にお住まいの5人の方を予定します。
あなたも会場からご参加ください。

助言者 たもつゆかりさん

進行 後藤 明子さん(武雄市男女共同参画推進市民会議)

主催 武雄市男女共同参画啓発イベント実行委員会
(事務局 企画部男女共同参画課 TEL23-9141)

☆回答：どちらかといえば進んでいる

☆意見

少しずつですが、男女がよきパートナーとして共に生きる社会づくりは進んでいるのではないのでしょうか。女性センターを望む声があり、その勉強会も行われています。また、啓発のイベントも毎年たくさんの人たちの協力で開催されています。そのお陰で、私は男女共同参画について考える機会を得、夫や友達に意見を求めたりすることも増えました。

話を聞くと、どの家庭でもわりと協力的な夫が多かったように思います。そして、お互いの協力に加え「ありがとう」の感謝の気持ちを伝え合っているところは、男女共同参画社会がうまく進んでいるなあと感じました。特に、家庭の中では心の手助けがとても大切なことなのではないのでしょうか。



武雄子ども劇場代表

野田 恵理子さん (橘町)